

# 「超音波講義講習会」のお知らせ

主催 日本超音波検査学会 (JSS北海道 第1回地方会)

JSS北海道第1回地方会を下記のように札幌市で開催します。今までの談話会、講習会を統合して今後は学術活動を地方会として開催する事になりました。

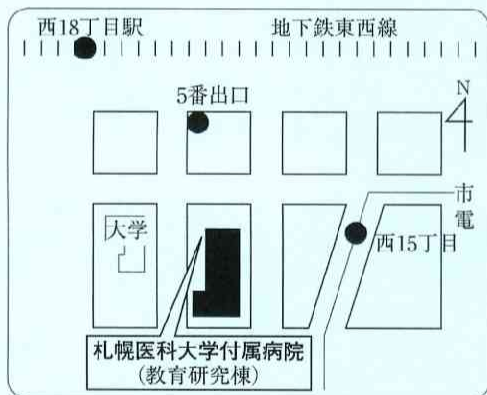
記念すべきJSS北海道第1回地方会のテーマは「これからの超音波検査技術」です。超音波機器の進歩に伴い診断法も刻々と進歩しています。最も基本のグレイスケールからカラードブラ、ハーモニックイメージ、そして造影超音波検査と、超音波の分野では経験豊富なお二人の先生に、基礎から最新の話題までを分かりやすくご講演して頂きます。

また、今回は会員発表支援も行います。発表の経験が無い方にも気軽に発表していただけるように、発表後には司会者が丁寧なアドバイスやサジェスションを行い、今後の研究や発表に役立つような形式にしたいと思えます。症例発表などでも結構です。皆様の多数のご応募、ご参加をお待ちいたしております。

記

日時 2004年8月7日(土) 14時00分～17時30分  
会場 札幌医科大学教育研究棟1階 大講堂  
参加費 会員：無料 非会員：2,000円

テーマ 『これからの超音波検査技術』



札幌医科大学臨床研究棟1階 大講堂

北海道札幌市中央区南1条西16丁目  
(付属病院の北側)

- 札幌市営地下鉄東西線「西18丁目駅」下車  
5番出口より徒歩3分
- 札幌市営電車「西15丁目」下車徒歩3分連絡先

連絡先：〒080-0805 北海道帯広市東5南9-2 帯広協会病院検査科 田村 悦哉 TEL 0155-22-6600  
メールアドレス eddy@obihiro-kyokai-hsp.jp (できるだけメールでお願いいたします)

プログラム

8月7日(土)

時 間	内 容	講 師
14:00~15:00	<p>第Ⅰ部 司会 西田 睦 (太黒胃腸科病院/札幌医科大学大学院放射線治療診断学)</p> <p>『腹部超音波の進歩：微細血流診断から治療アシストまで』</p> <p>腹部超音波に関する新技術として、Bモード映像技術として差音原理を用いたdifferential THIを、造影技術として微細血流イメージングであるMicro Flow Imagingを、超音波ガイド下穿刺では穿刺用の新しいプローブとして広帯域マイクロコンベックスプローブを紹介する。</p>	<p>小井戸一光 (札幌医科大学放射線科)</p>
15:10~16:20	<p>第Ⅱ部 『会員発表支援』</p> <p>発表の経験が無い方にも気軽に発表していただけるように、発表後には司会者が丁寧なアドバイスやサジェスションを行い、今後の研究や発表に役立つような形式にしたいと思います。症例発表などでも結構です。皆様の多数のご応募をお待ちいたしております。</p> <p>司会 沖中 英紀 (王子総合病院) 島崎 洋 (札幌厚生病院)</p>	
16:30~17:30	<p>第Ⅲ部 司会 林 純美 (天使病院)</p> <p>『超音波工学の理解に立った超音波診断法の基礎について』</p> <p>超音波診断装置の急速な発達により、分解能の高度で、各種の機能を兼ね備えた装置を利用できるようになり、得られる画像の鮮明さは目を見張るものがある。しかし画像が鮮明で判断が容易になるにつれて、ともすれば装置の基本となる超音波工学の基礎理論を理解せずに、画像を描出し、判断して、思わないピットフォールに悩まされることが少なくない。確かにカラードブラ法が発展し、造影ドブラ法が出現するに至り、グレイスケール法の重要性を忘れ始めている人が多い。ここで改めて超音波診断法の基礎に思いをいたし、超音波診断法に精通していただきたいと考える。</p>	<p>福田 守道 (札幌医科大学名誉教授)</p>

「会員発表支援」の演題申し込みについて

演題名、発表者と抄録テキスト（文字数800字以下、図表が入る場合は560字、A4 2段組の半分）を7月10日までにメールまたはフロッピー（CD-Rでも可）にて送付してください。

〒060-0061 札幌市中央区南1条西15丁目 tel 011-623-7101 (直)

NTT東日本札幌病院 臨床検査科 神 幸二

メールアドレス jin@jss.org